

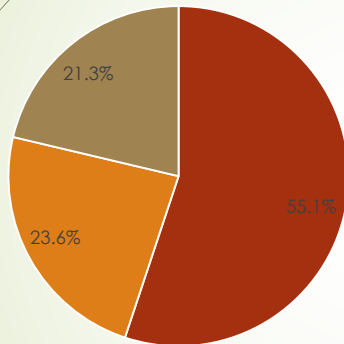
プラスチック資源循環実証事業

市民アンケート調査の実施結果
大仙市市民部生活環境課

アンケートの実施方法、回収結果

- 12月1日から20日の期間で実施
- 大曲地域の町内会157の町内会長あてにアンケート調査依頼文書を送付し、回答用紙5枚を同封。
- 返信用封筒により回収。
- 785枚を依頼し、403の回答を回収。（回収率51.3%）
- 町内会の数でカウントして約半数から返送。

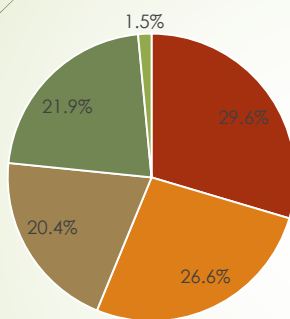
問1. プラスチックごみの試験回収に関する感想



- 大変良い取組だと思った
- 面倒なので、できればやりたくない
- 事業を知らなかった、実践していない

	回答数 (人)	割合 (%)
大変良い取組だと思った	222	55.1
面倒なので、できればやりたくない	95	23.6
事業を知らなかった 実践していない	86	21.3

問2. 試験回収について全戸配布したチラシについての感想



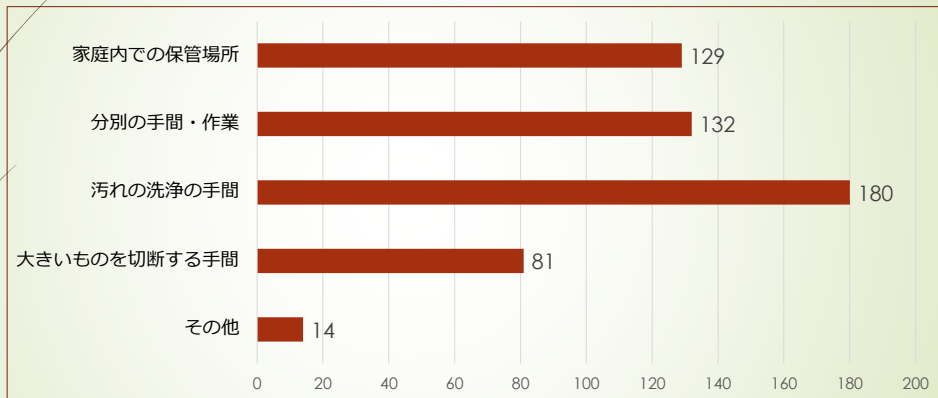
- 出し方のルールなど十分理解できた
- 出せるものと出せないものの種類がわかりにくい
- 汚れ、シールなどの付着物への対応がわかりにくい
- チラシを見ていない、チラッと見た程度
- その他

	回答数 (人)	割合 (%)
出し方のルールなど十分理解できた	118	29.6
出せるもの・出せないものの種類がわかりにくい	106	26.6
汚れ・シールなどの付着物への対応がわかりにくい	81	20.4
チラシを見ていない、 チラッと見た程度	87	21.9
その他	6	1.5

<その他の意見>

- ・分別とごみ袋については理解できたが、ペットボトルの回収後に収集車両が再度来ることを知らなかった。

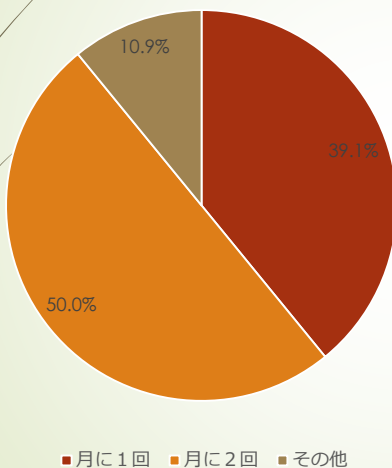
問3. プラスチックごみの試験回収に参加してみて困ったこと（複数回答可）



<その他の意見>

- ・意外と量が多く感じられ分別に手間がかかったが、やってみて分別の目的はいいことだと思った。
- ・ちょうどいい大きさの袋がない。（袋の指定がなかったため）
- ・プラスチックに紙のシールが貼られていることが多い。
- ・保管場所に困る。

問4. 本格的にプラ資源回収する際の回収頻度はどれくらいがよいか

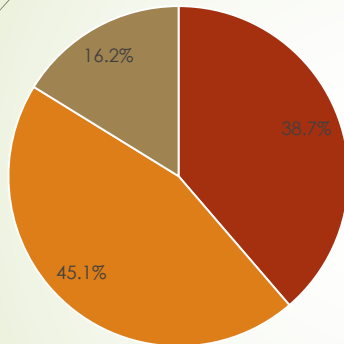


	回答数 (人)	割合 (%)
月に1回	151	39.1
月に2回	193	50.0
その他	42	10.9

<その他の意見>

- ・毎週1回
- ・毎週2回
- ・年6回（2か月に1回）
- ・年1回

問5. 本格的にプラ資源回収する際の指定袋のサイズは



- 4 5 (程度) 1 種類に指定
- 他の資源ごみ袋と同じサイズ (大・小の2種類)
- その他

	回答数 (人)	割合 (%)
4 5 (程度) 1 種類	150	38.7
他の資源ごみ袋と同じ (大・小の2種類)	175	45.1
その他	63	16.2

<その他の意見>

- ・袋のサイズや種類はや自由にしてほしい (透明なもの)

その他の自由意見

- プラスチック使用のごみの多さに驚きました。汚れのひどいごみは燃えるごみで処理できれば助かります。
- プラスチックごみの多さにびっくりしました。プラスチックを分別するならば燃えるごみは週1回でもいいと思う。
- 回収日を増やしてほしい。汚れた物を1か月も置いておくのは不衛生。
- 分別の種類が多すぎる。
- スーパーによってラップにラベルが2枚、3枚と貼られているところがあるので、市でスーパーに対して剥がしやすいようなものを使用するよう要請してほしい。
- 今回は実践しなかったが、家庭内での洗浄、保管場所などで手間取ると思う。
- パレット等に再商品化するとあったが、手間と再生品の価値に疑問がある。
- プラスチックとペット素材のマークを間違えることがあったのでごみの分別を分かりやすく改定してほしい。
- 今回の回収はあまり浸透していないように感じたのでもう少しPRが必要。
- 今すぐにもやってほしい、ただしもう少し詳しく出し方などを示してほしい。